

なにもかもが独り

—施設で育った子どもたちのそれから—



講師 早川 悟司

(社福) 子供の家児童養護施設「子供の家」施設長



講師 高橋 亜美

(社福) 子供の家アフターケア相談所「ゆずりは」所長

家庭という基盤を持たない子どもたちは、学生生活を終わると、ひとりで社会に巣立つことを余儀なくされます。彼・彼女達が直面する現実と抱える思いから、社会的養護の現場に求められる養育と関係機関の支援について見つめ直します。

● 日 時 : 2016年1月12日(火)

12:30 受付開始

13:00 開会

13:15~14:45 第1部

講演「ひとりひとりの主体的な『自立』を支えるために」

講師 早川悟司(「子供の家」施設長)

15:00~16:30 第2部

講演「退所後に抱える困難とアフターケアの現状」

講師 高橋亜美(「ゆずりは」所長)

16:45 閉会

● 場 所 : 子どもの虹情報研修センター 大研修室

● 対 象 : 子どもの虐待防止に関心のある方

● 申込方法 : 「参加申込書」を当センター研修課宛に送信

● 参加費 : 無 料

【講師紹介】

早川悟司(はやかわさとし) : 社会福祉士。社会福祉法人子供の家の児童養護施設「子供の家」の施設長。東京都社会福祉協議会児童部会リーディングケア委員会副委員長、全国児童養護問題研究会組織部長、同東京支部副支部長等を務める。進学支援をはじめとする自立支援の標準化に向けて、活動・研究・執筆を行っている。著書に『子どもの未来をあきらめない 施設で育った子どもの自立支援』(共著 明石書店)、『Leaving Care 児童養護施設職員のための自立支援ハンドブック』(共著 東京都社会福祉協議会)、『子どもの暴力対応実践マニュアル』(共著 建帛社)等

高橋亜美(たかはしあみ) : 2002年に自立援助ホーム「あすなろ荘」の援助スタッフとなる。2011年にアフターケア相談所「ゆずりは」の所長に就任。著書に『愛されなかった私たちが愛を知るまで』(共著 かもがわ出版)、『施設で育った子どもたちの居場所「日向ぼっこ」と社会的養護』、『子どもの貧困白書』(共に明石書店 分担執筆)、『子どもの未来をあきらめない 施設で育った子どもの自立支援』(共著 明石書店)。

子どもの虹情報研修センター

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 983 番地 TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091

Email info@crc-japan.net URL <http://www.crc-japan.net>



子どもの虹情報研修センター研修課 行き

Fax 045-871-8091

Email info@crc-japan.net

平成27年度 子どもの虹情報研修センター公開講座 参加申込書

フリガナ 氏名	
所属 *所属のない方は、名称「なし」とし、地域はお住まいの都道府県を記入してください。	名称 :
	地域 : 都道府県
電話番号	(所属・自宅)
FAX 番号	(所属・自宅)

- 定員は先着 200 人です。定員になりしだい受付を締め切ります。
その際は当センターのホームページに締め切りのお知らせを掲示します。
- 公開講座は申込確認のご連絡をいたしませんので、ご承知置き下さい。
- 当センターには受講者用駐車場がありません。自家用車でのご来場はご遠慮下さい。

【アクセス】

交通案内:周辺案内図

※JR東海道本線・横須賀線・横浜市営地下鉄戸塚駅西口バスセンターから4番乗り場「汲沢・立場ターミナル」行き乗車「横浜桜陽高校前」で下車(約15分)同停留所から徒歩3分